

あみだによらいりつぞうまがいぶつ
阿弥陀如来立像磨崖仏
 (室生上笠間)



「滝ノ尾長者」が一夜のうちに細工したという伝説があります。
 花崗岩の崖を舟型に彫りくぼめ、阿弥陀如来が半肉彫りで表されています。近くに観音・勢至両菩薩の梵字で刻まれ阿弥陀三尊を表したもので、碑文から浄土宗の信者の手によるものといえます。中尊阿弥陀立像は像高約1.6m、天文三年(1534)の刻銘があり、室町時代中後期のものとわかります。
 笠間街道の道中にあることから、石仏ができた室町時代から明治初期までの約400年間にわたり、街道を歩く旅人はここで道中の安全を祈願してお伊勢参りをしたと伝えられています。

▶貴重な文化財であるとともに、今も、病気平癒、進学就職、交通安全を祈願し、霊験あらたかな仏様として崇拝されています。

DREAM ~夢があるから強くなる~ 元プロスポーツ選手が夢を語る夢先生に!!
全小学校で JFA こころのプロジェクト「夢の教室」を実施



今年度も昨年11月からこの1月にかけて、市内の小学校5年生全クラスを対象に「JFA こころのプロジェクト『夢の教室』」を実施しました。
 「夢先生」として招くのは、日本や世界で活躍した元スポーツ選手・現役スポーツ選手です。



▲松田 志保先生 (ビーフィン選手)
 「努力するということを学んでほしい」



▲前田 宏行先生 (元総合格闘技選手)
 「今、好きなことばかりしていると、将来、本当にやりたいことができなくなる」

授業前半はスポーツを通じて「目標に向かってみんなで協力することの大切さ」を、後半は教室で「夢を持つことの大切さ」を『夢曲線』として描き、人生には山や谷があり、乗り越えてきたことを子どもたちに伝えていただきました。

夢先生からは「自分の夢をまわりの人に伝えることで、応援してもらうことができ、夢を実現しやすくなるよ」とアドバイスをもらって、楽しく「夢の教室」を終えました。



▲小口 貴久先生 (元リージュ選手)
 「少しでも夢に近づくために何ができるか考えよう」



▲飯島 寿久先生 (元サッカー選手)
 「今日の汗は明日、輝く。今を精一杯がんばろう」



▲佐藤 亮先生 (元フットサル選手)
 「夢中になることを見つけよう。できないことがあっても後悔はしない」
 「夢はみんなに話すこと！夢への1歩を後押ししてくれる」